

粗圧延機モータ駆動電源装置の更新のお知らせ

当社は本年7月、川崎製造所（神奈川県川崎市川崎区）の熱延工場において、粗圧延機モータ駆動電源装置の更新工事を実施いたしました。

1. 熱延工場および粗圧延機の概要

当社の熱延工場では、3種類の加熱炉、2基の圧延機を保有し、ステンレス鋼をはじめ多種多様なニッケル合金のプレート、コイルの圧延をおこなっております。熱延工場に運ばれたスラブ（半製品）は、まずは加熱炉で加温された後、粗圧延機で①広幅プレート圧延（最大板幅2500mm）、または②仕上圧延機（ステッセルミル）の前段階のシートバー圧延の加工がおこなわれます。今回、モータ駆動電源装置を更新した粗圧延機は、①②の機能を有するフレキシブルな兼用圧延機です。

2. 更新設備の概要

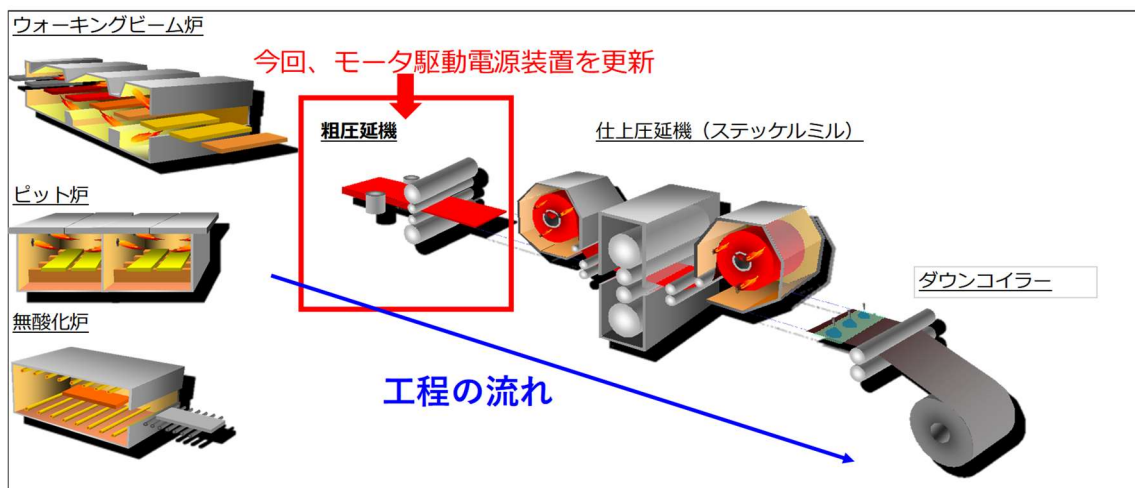
- ・名称：粗圧延機モータ駆動電源装置
- ・電源装置制御方式：IGBT（Insulated Gate Bipolar Transistor）インバータ
- ・投資金額：約19億円
- ・省エネルギー効果：消費電力の約6%削減（従来駆動電源装置対比）

3. 更新の目的

- （1）省エネルギー活動の推進による競争力強化、環境負荷の軽減
- （2）川崎製造所の基幹設備老朽化対応による安定的な生産基盤の維持、強化

今回の更新工事を実施した粗圧延機をはじめ、多くの大型設備を保有する当社におきましては、省エネ対応は競争力強化および環境負荷軽減のために不可欠な取り組みです。脱炭素化社会実現の一助となるべく、今後もさらなる省エネ対応の設備投資を推進してまいります。又、安定的な生産活動を維持するために、基幹設備における老朽化対応も計画的に実施してまいります。

熱延工場圧延ライン



本件に関するお問い合わせ先：設備企画部（電話：044-271-3050）